

コンプライアンス101:

ファクトと統計で理解するデータコンプライアンスの重要性
マスターデータ管理を活用して競争力を強化する方法

データコンプライアンスが重要な理由

コンプライアンス違反のリスクやコストは、コンプライアンスを実施する手間やコストをはるかに上回ります。コンプライアンスをまだ徹底していないのであれば、今こそ最優先事項として着手すべきです。

広範囲に該当するコンプライアンス

コンプライアンスとは、政府機関や業界団体などが定める規則やガイドラインを積極的に遵守することであり、GRCと呼ばれる統合的リスク管理手法の一部です。

GRC

ガバナンス・リスク・コンプライアンス

データ管理でコンプライアンスを強化

コンプライアンスを徹底するためには、以下のデータ管理/ガバナンスを確立する必要があります



データ品質



データの整合性



データのプライバシー保護

コンプライアンスに含まれるもの:

1. 規制
2. 法律
3. 産業規格
4. ポリシープロセス



30%

データ量は、2025年まで毎年30%増加すること{1}{1}が予想されており、データガバナンスは日々複雑化しています。

すでにコンプライアンスを実施している場合は、このセクションを飛ばして次へ。コンプライアンスを実施していない場合は...

コンプライアンスへの取り組み

企業は、コンプライアンスの維持に必要なリソースが増加傾向にあると報告しています。{1}{2}{1}

70%

今後、法規制リスクへの対応が増加すると考える企業の割合

60%

今後、ベテランスタッフの人員費が増加すると考える企業の割合

62%

今後、法規制が増加すると考える企業の割合

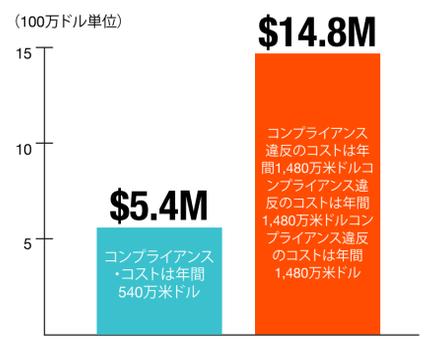
42%

今後、増員の必要性が高まると考える企業の割合

コンプライアンスを徹底しなければ...

膨大な費用がかかるばかりでなく、以下のダメージは必至:

- ・業務の中断や機会損失による収益の低下
- ・生産性の低下
- ・罰金、賠償金、和解金などの支払い
- ・高額な修繕・修正費用



コンプライアンス違反のコストは急増中

2011年から
2017年で
45%増

コンプライアンス違反の結末

- ・訴訟、罰金・賠償金の支払い
- ・ブランドの評判/イメージの低下
- ・製品/サービスの販売停止
- ・莫大な財務的打撃/破産
- ・解雇・解任、懲役、人や環境へのダメージ

ビジネスにコンプライアンスは必須

課題は複雑化

GDPR

EU一般データ保護規則 (GDPR) は、最も厳格なコンプライアンス規制。違反した場合の制裁金は最大2,000万ユーロ (または収益の4%) に上ります

その他の法規制/規格:

| | | |
|-----------------|-------|--------------|
| 国際財務報告基準 (IFRS) | UDI | KYC |
| ISO | IEEE | GS1 |
| GDSN | COSHH | EU 1169/2011 |

こうした法規制や規格は日々増加しており、金融サービス業{1}{2}{1}だけでも7分おきに「規制アラート」が発信されています。

:07

マスターデータ管理 (MDM) を活用してコンプライアンスを強化

コンプライアンスの強化の強い味方となるのがMDMです。様々なアプリケーション、リソース、ロケーションに分散されているデータのガバナンスに必要なインフラストラクチャ、ツール、プロセスを提供します。一貫性のあるポリシーや制御に沿って、データの生成、審査、更新、処理、フォーマット化、保護、共有、シンジケートを実行します。また、以下の機能によりコンプライアンスを徹底します。

| | | | | | | |
|-----------|------------|------------|--------------|-------|-------|-------------------|
| 自動化ワークフロー | データの正確性の確保 | データの可用性の確保 | 業務に合わせたデータ処理 | リスク軽減 | コスト管理 | ゴールドレコード (単一の情報源) |
|-----------|------------|------------|--------------|-------|-------|-------------------|

MDMを活用すれば、コンプライアンスに振り回されことなく、コンプライアンスを強化することができます。

コンプライアンスの強化とは、単なる法規制への対応にとどまりません。最適なソリューションを導入すれば、ベンダーやパートナーとの信頼関係を構築し、サプライチェーンを最適化して、データのプライバシー保護を徹底できるなど、様々なメリットがあります。

商品マスターデータ管理でGS1規格に対応
1日あたり50億件の取引にGS1規格が適用されています。
規格に違反すれば、どこにも製品を販売できません。

商品マスターデータ管理で欧州議会及び理事会規則 1169/2011に対応
消費者が賢く判断するためには、正確な栄養成分表示が必要になります。欧州議会及び理事会規則 1169は、食品ラベルや栄養表示に関する規制を定めたものです。

GDPR

顧客マスターデータ管理 (CMDM) でデータのプライバシー保護を徹底
GDPRを遵守するためには、顧客情報の厳格な管理が必要になります。CMDMなら、コストを抑えつつ、データのプライバシー保護を徹底できます。

MDMを活用してコンプライアンス戦略を強化

上記の統計を見ても明らかのように、コンプライアンスを徹底すれば、企業のビジネス価値を高め、差別化を実現することができます。責任を持って、効果的にコンプライアンスを実施するための機能を備えたマスターデータ管理を活用すれば、競争力を大幅に強化できます。MDMを導入すれば、顧客、製品、サプライヤー、従業員、ロケーションなどの様々な情報を的確に把握し、管理・制御できるようになります。その結果、データの可視性とトレーサビリティが向上し、コンプライアンス業務を効率化して貴重なリソースを解放し、ビジネスの成長に集中できるようになります。

貴社のビジネスを優先する「ビジネスファースト」に基づいたマスターデータ管理を活用し、コンプライアンスの取り組みを強化する方法については、Eメール (info@stibosystems.com) でお問い合わせください。ウェブサイト (stibosystems.com) でも詳細をご覧ください。

StiboSystems

MASTER DATA MANAGEMENT

Your business first

出典:
{1} Seagate/IDC発行「Data Age 2025: データ活用の重要性の変化」2017年 {1}
{2} トムソン・ロイター社発行「コンプライアンスコストレポート 2017/2018」{1}
{3} グローバルスケープ/ボネモン研究所発行「データ保護規制に関するコンプライアンスコスト調査」2017年 {1}